

令和4年度認定

計画名	45 富岡製糸場を中核とした文化観光拠点計画
-----	------------------------

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R4			R5			R6			R7			R8	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績
富岡製糸場の年間入場者数(万人)	40	32	79%	40	37	93%	42			42			45	
富岡製糸場の年間外国人入場者数(人)	500	608	122%	1,000	1,629	163%	2,000			3,000			8,000	
富岡製糸場の入場者満足度(%)	38	38	99%	39	43	110%	40			42			44	
観光客向けの新ガイドツアーの実施回数(回)	0	0	-	96	0	0%	192			288			368	
富岡製糸場内の売店等の売上げ額(千円)	81,862	65,254	80%	113,704	86,117	76%	145,546			177,388			209,230	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入場者数については、年内までは40万人を超える勢いで伸びていたが年が明けてから入出が伸び悩み、また、3月は天気の影響で場内の桜の開花が遅れたこともあり少なく、結果として目標達成ができなかった。</li> <li>・外国人については国内全体のインバウンド状況同様、増加したものと考えられる。</li> <li>・観光客向けの新ガイドツアーについては、現状のガイドを行っている団体向けに研修を行い、スルーガイドとして活動するためのマニュアルを作成した。</li> <li>・売店売り上げについては目標達成はできなかったがR4年度からは132%増であった。</li> <li>・満足度については目標を上回る達成であった。コロナが5類へ移行したことで来場者が制約を感じることなく見学を楽しめる状況になったことも要因の一つと推察されるが、西置簗所多目的ホールでの様々なイベント開催や、西置簗所の解説だけであった音声ガイドアプリが富岡製糸場全体についても多言語(日・英・中)で整備されたこと、ARクイズやARフォトフレームの提供など来場者が各自のスマートフォンを使って自由に楽しみながら場内を回れるツールを整備したことも満足度アップに貢献したと考えられる。</li> <li>・観光客向けの新ガイドツアーについて、ガイドの育成は研修等で行ったが、知識習得に係る研修時間が不足してしまった。また、実際に富岡製糸場内をガイドする場合、指導員による解説確認という試験的なものを通過することが必要であり、当該年度中に解説確認までの実施ができなかったことが新ガイドツアーの実施に繋がらなかった要因であると考えられる。</li> </ul> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入場者、売店売り上げとも、直接影響を与えるような計画上の事業は未実施であるが増加の傾向にある。</li> <li>・令和6年度にインバウンド向けの研修を実施し、ガイドのスキルアップを図るとともに、コンテンツとして販売していく運営体制の構築を行う。</li> <li>・満足度アップは、口コミの効果で入場者増へつながることを期待できるので、今後も満足度アップに努めたい。</li> </ul>
--

③計画で取組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R4	R5	R6	R7	事業類型ごとの実績額
1-①	国宝「繰糸所」展示コンテンツ磨き上げ事業	展示コンテンツの仕様検討	展示コンテンツ(動画)制作を実施。			15.1百万円
1-②	国宝「東置簗所」の展示・情報発信コンテンツ磨き上げ事業	リニューアル内容の検討	リニューアル内容の検討			
1-③	富岡製糸場と他の構成資産等の価値の磨き上げに係る連携促進 ※群馬県や富岡市等の予算や文化庁「地域文化財総合活用推進事業」を活用	・調査研究に携わる若手研究者等を支援、研究成果報告会を開催 ※県予算等を活用	・調査研究に携わる若手研究者等を支援、研究成果報告会を開催 ※文化庁「地域文化財総合活用推進事業」を活用			
2-①	富岡製糸場の公衆無線Wi-Fi強化事業	計画の検討・調査	Wifi環境の部分的整備(繰糸所内)を実施。			20.5百万円
2-②	インバウンド体制構築事業	体制の検討、構築、人材育成	研修会の実施 ライター養成講座の実施 SNS広告配信 記事掲載			
2-③	富岡製糸場の音声ガイド及び案内・説明板等の多言語表示強化事業	看板：多言語化状況の確認、計画	音声ガイド：フランス語及び韓国語の整備(追加)を実施。 案内説明板：多言語化を実施。			
2-④	観光客向けの新たなガイドツアー造成事業	計画の検討、体制構築	研修会の実施 新ガイドマニュアルの作成			
2-⑤	史実に基づく工女袴着用体験事業	計画の検討	史実に基づく工女袴の作成 着用体験事業運用体制構築			
2-⑥	「富岡製糸場と絹産業遺産群」構成資産の展示強化・連携事業	-	・富岡製糸場西置簗所多目的ホールにて企画展を実施 ・構成資産への周遊を促す動画を作成			3.0百万円
2-⑦	Japan Silk Net(仮称)(全国シルク関連遺産ネットワーク)構築事業	-	-			
3-①	「富岡製糸場と絹産業遺産群」を巡る発型観光プラン構築事業	-	-			
3-②	電動バスの利便性強化事業	現状の調査、整備内容の計画検討	停留所における多言語サイン整備 研修会の実施			
3-③	旧葎塚製糸場における富岡製糸場に関わる説明強化事業	説明内容・方法の検討	延期			

4-①	県内温泉地宿泊施設等との富岡シルク製品を活用したコラボレーション事業	計画の検討、業者の選定、設計	富岡シルクを活用したハンドクリームの試作品開発			1.4百万円
5-①	富岡市観光HP（富岡製糸場HP）のリニューアル事業	計画の検討	ホームページのリニューアル 新規機能の入れ込み			8.5百万円
5-②	国内外へのプロモーション戦略事業	現状の分析、実施計画の内容検討	延期			
5-③	西置繭所多目的ホールのユニークベニューとしての活用推進事業	計画検討、体制構築	延期			
5-④	誘客シナリオの製作	計画の検討、業者の選定、設計	誘客シナリオの作成			
6-①	新たなガイドツアーの待合及び出発場所としての利便性向上事業	必要設備の調査検討	椅子の設置 空気清浄機の設置 案内看板作製			0.7百万円
6-②	東置繭所の売店及びシルクギャラリーの整備事業	計画の検討	計画の検討			
各年度ごとの実績額→		0.0百万円	49.1百万円			49.1百万円

#### ④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年度完了を目指した1-①(コンテンツ制作のみ)、事業2-①(一部)、事業2-③については、予定通り実施した。</li> <li>・観光客向けの新ガイドツアーについては、令和6年度もガイドのスキルアップを図るとともに、運営体制の構築を図っていく必要がある。</li> <li>・富岡市観光ホームページ（富岡製糸場ページ）に関しては、新規コンテンツを追加したことから更なる情報発信が必要となってくる。</li> <li>・令和5年度にて完結した事業に関しても、誘客に向け、引き続き磨き上げを行っていく。</li> <li>・事業1-③については、課題である調査研究に携わる後進の育成を図るため、学生のみを対象とした実践型プロジェクト部門を設置した。今後も研究者の裾野を広げるための取組が必要である。</li> <li>・事業2-⑥については、世界遺産登録から令和6年度に10年が経過しようとする中で、富岡製糸場で世界遺産の価値や4資産のつながり等を発信することにより、他の資産への周遊へと繋げていく必要がある。</li> </ul> <p>(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業1-①については完成した動画コンテンツを線系所内で映せる整備とその他の磨き上げ整備をR6に行い事業の完了を目指す。</li> <li>・事業1-③については、若手研究者の参画により、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」や絹文化を掘り下げるとともに、観光や地域振興、町づくりなどの振興策などの研究の成果・考察が報告された。研究成果は、事業2-⑥、2-⑦、3-①などと連動させ、4資産や広域連携強化に繋げていきたい。</li> <li>・事業2-①は残りのwifi環境整備をR6に行い事業を完了させる。</li> <li>・事業1-①は6年度に全体整備を予定通り進める事業完了を目指す。2-①は6年度に残りの整備を行い事業を完了を目指す。</li> <li>・観光客向けの新ガイドツアーについては、インバウンド向けの内容とした研修等を行い、本格的な運用開始に向けて調整を図るとともに、運営体制の構築を行う。</li> <li>・事業2-⑥「富岡製糸場と絹産業遺産群」構成資産の展示強化・連携事業では、企画展を通して、現在の富岡製糸場の常設展示で不足している4資産のつながりについて、周知することができた。田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴の3資産は認知度が低いことが周遊の課題であるが、各資産周辺の有名観光地や温泉地、絹遺産などのアクセス情報を紹介することで、認知度を高めることができた。</li> <li>・魅力ある情報発信を継続的にやっていく。</li> <li>・完結事業の今後の展開を想定し、ブラッシュアップを行いながら、誘客に努める。</li> </ul>
--

#### ⑤拠点施設の要件に関する取組状況

要件	文化観光拠点施設名	富岡製糸場
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		・富岡市観光ホームページ（富岡製糸場ホームページ）をリニューアルし、利用者が必要とする情報を上位表示させるとともに、これまで埋もれていた富岡製糸場に関する情報をトップ画面上で表示させるようリニューアルを行った。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		・富岡市観光ホームページ（富岡製糸場ホームページ）に関し、アクセスされる端末がスマートフォン及びタブレットが7割を占めることから、当該端末から閲覧しやすい仕様とした。またインタラクションを導入することで、他のホームページとの差別化を図った。 ・音声ガイドアプリやHPにアクセスできるように、wifi環境の整備(線系所内)を実施した。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		・外国人旅行者が電動バスに乗りやすいよう、停留所における案内板の多言語化を行った。 ・外国人旅行者が電動バスを利用した際の満足度を向上させるため、まちなか周遊観光バス多言語マップを作製するとともに、ガイド向けに多言語（英語・中国語）研修を行った。 ・音声ガイドアプリの多言語化を充実させ(韓国語・フランス語の追加)、場内の案内説明看板の多言語化を実施した。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築		・事業を展開するにあたり、群馬県、本市DMOや（一社）富岡シルク推進機構と連携を図り、各種事業を実施した。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析		・富岡製糸場の入場者に対し、アンケートを実施し満足度等を確認した。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立		・令和5年度から継続される事業に関しては、引き続き、関係者と連携しながら事業構築を図っていく。また、令和5年度に完結した事業は、誘客に向けて、DMOを中心に事業を展開するとともに、ブラッシュアップを行うことで、各事業の磨き上げを行っていく。

## ⑥ 観光関係者（DMOなど）からの評価

評価者	評価内容
(一社)富岡市観光協会	令和5年度は、本格的に事業着手となった事業が多かった印象であり、当該計画の拠点となる富岡製糸場を中心に魅力あるコンテンツの造成や事業展開されてきていると感じている。当協会も本市の観光地域づくりを担うDMOとして、造成されたコンテンツ等を活用するとともに、ブラッシュアップを行い、魅力ある事業展開を行っていくことで誘客を図りたいと考えているため、引き続き、関係団体等との連携を強化し、当該計画を推進していきたい。

## ⑦ 今後の改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"><li>・拠点施設へ誘客を図れるよう、当該計画期間中のみの実施に留まらず、実施→検証→磨き上げ→実施を繰り返すことで、拠点施設を中心とした魅力ある地域を目指す。</li><li>・事業1-③については、調査研究に取り組む学生や研究者の裾野を広げ、富岡製糸場に資する事業や観光振興・地域振興に関する事業に繋げていくで、富岡製糸場と他の構成資産等の価値の磨き上げに係る連携促進に取り組む。</li><li>・事業2-⑥については、事業終了後は本拠点計画で展示改修予定の東置繭所の常設展示のコンテンツ等で利用することで、富岡製糸場の機能強化に繋げ、観光誘客に繋げていく。</li><li>・事業2-⑦については、日本の近代化を支えた日本各地の絹産業遺産の文化観光拠点として、日本各地のシルク関連地域とネットワークを構築しながら、わかりやすく展示解説（事業2-⑥）を行うとともに、令和7年度以降に実施を予定している発型観光プラン構築（事業3-①）と連動させて、全国から観光客を呼び込むことに繋げていく。</li></ul>
---